

# 平成27年度 「言語聴覚の日」イベント報告



## 茨城県

「何のために、誰のために言語聴覚の日はあるのか？」 「啓発の先に何かがあるのか？」

根源の追求から始まった今年の言語聴覚の日。

我々が出した答えは「STを目指す中高生を増やし、将来の質の向上を図りやすくする」ことでした。

また「イベントの楽しさをより沢山の会員で共有したい」、「意見が採用される喜びを若いSTに経験してもらいたい」というコンセプトのもと、みんなで企画・運営に携わりました。

その結果「ディアドコキネシスコンテスト」、「頸部聴診体験」、コース立方体組み合わせ検査を模した「巨大絵合わせキューブ」を用いた脳トレ、電気喉頭の機器展示、STに関するクイズを印字したTシャツを着て会場周辺を歩くなどアイディアに溢れた内容が揃いました。

相談窓口にも我が県を代表するベテランSTたちが大集結。万全の態勢を整えました。

今年は会場を宇宙開発と学園都市で有名な「つくば」へ移し、よりたくさんの来場客を狙うため年間40万人の来場者が集う県下最大級のイベント「まつりつくば」の一角にブースを構えました。

8月23日、快晴。殺風景だったイベント用テントは若い女性STたちの手によってとっても可愛く変身し、こどもから大人まで、更には外国の方まで沢山の人の来場いただきました。

今年も沢山のSTに支えていただいたことと、素敵な仲間たちに引き合わせてくれた「言語聴覚の日」に場を借りて感謝致します。

一般社団法人 茨城県言語聴覚士会  
広報局 鈴木悠史

